



日鉄鉱業株式会社

# 2023年度（2024年3月期） 第2四半期 決算説明資料

証券コード：1515

2023年11月7日

## 決算説明資料 目次

1. 2023年度 第2四半期 連結決算概要 ……P.3
2. 2023年度 第2四半期 セグメント別連結決算概要 ……P.5
3. 連結貸借対照表 ……P.13
4. 2023年度 中期経営計画の進捗 ……P.14
5. 2023年度 連結業績予想 ……P.16
6. 政策保有株式に関する方針 ……P.19
7. 株主還元方針 ……P.20

# 1. 2023年度 第2四半期 連結決算概要

- 売上高は、石灰石の販売価格上昇等により、増収となった。
- 営業利益及び経常利益は、増収となったものの、為替変動の影響に加え生産コストの増加等により、減益となった。
- 親会社株主に帰属する四半期純利益は、経常利益の減少により、減益となった。

(単位：億円)

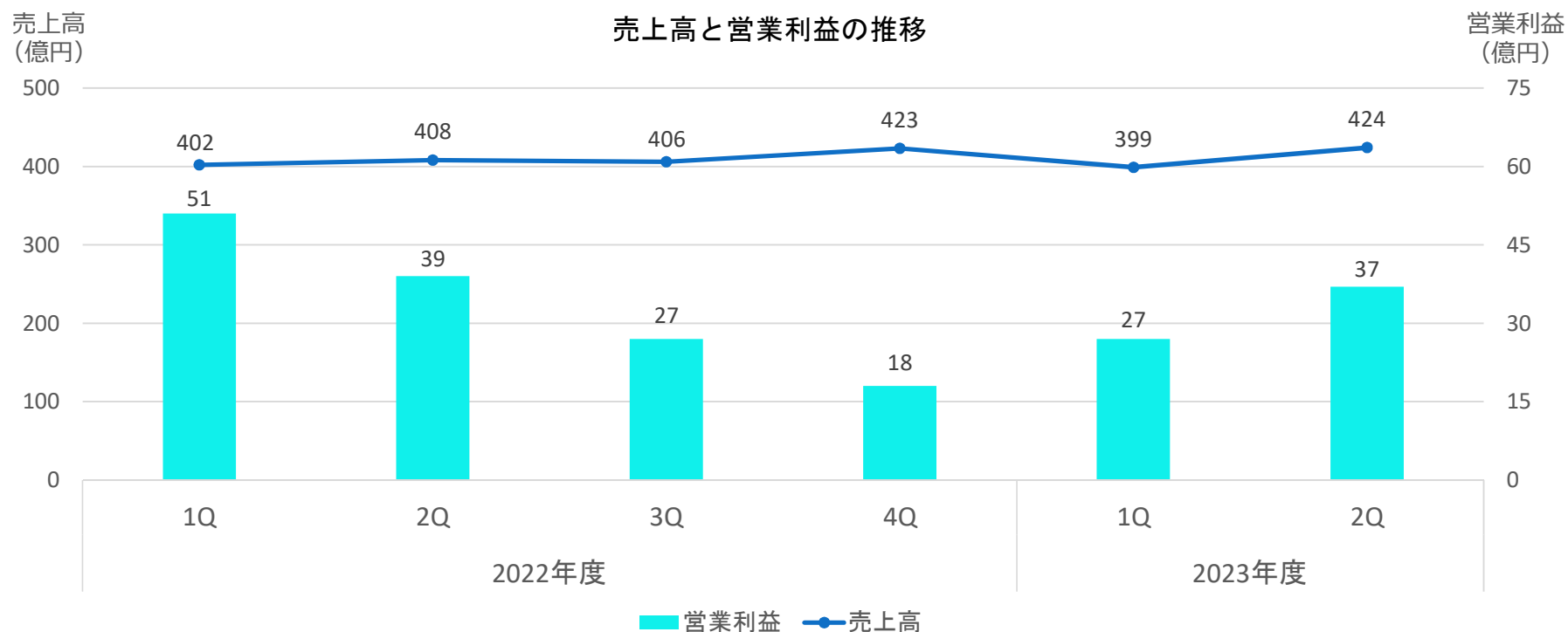
<業績>	2022年度 第2四半期	2023年度 第2四半期	増減
売上高	810	823	13
営業利益	90	65	△25
経常利益	96	71	△25
親会社株主に帰属する 四半期純利益	55	46	△9

<指標等>	2022年度 第2四半期	2023年度 第2四半期	増減
ROA（総資本営業利益率）※年換算	9.1%	6.1%	△3.0%
自己資本比率	61.4%	62.7%	1.3%
銅価格（¢/lb）	391.64	381.79	△9.85
為替レート（円/米ドル）	133.97	140.99	7.02

# 1. 2023年度 第2四半期 連結決算概要 業績推移（四半期）

- 2022年度は、円安の進行に伴う金属部門の増収により上期は好調に推移したが、下期は為替変動が緩やかになったことに加えエネルギー価格高騰によるコスト増加等により、減益傾向で推移した。
- 2023年度は、鉱石部門の石灰石が減販となっているものの、販売価格の上昇等により、増益傾向に推移している。



## 2. 2023年度 第2四半期 セグメント別連結決算概要（売上高）

（単位：億円）

	2022年度 第2四半期	2023年度 第2四半期	増減	増減説明
資源事業：鉱石部門	296	308	11	石灰石 増収：販売価格の上昇 砕石 増収：販売価格の上昇
資源事業：金属部門	428	428	0	電気銅 増収：販売数量の増加及び円安の進行 銅精鉱 減収：仕入販売の当期実績なし その他 増収：金・銀の価格上昇
機械・環境事業	61	62	1	産業機械 減収：機械関連子会社の減販 環境商品 増収：水処理剤の販売価格の上昇
不動産事業	14	14	0	前年同期なみ
再生可能エネルギー事業	9	9	0	前年同期なみ
合計	810	823	13	

## 2. 2023年度 第2四半期 セグメント別連結決算概要（営業利益）

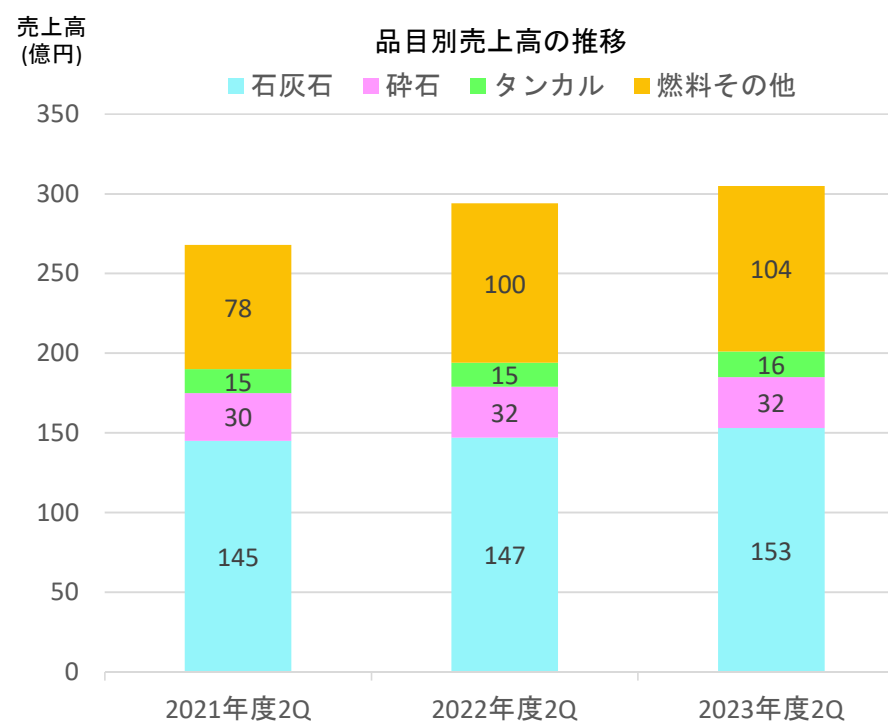
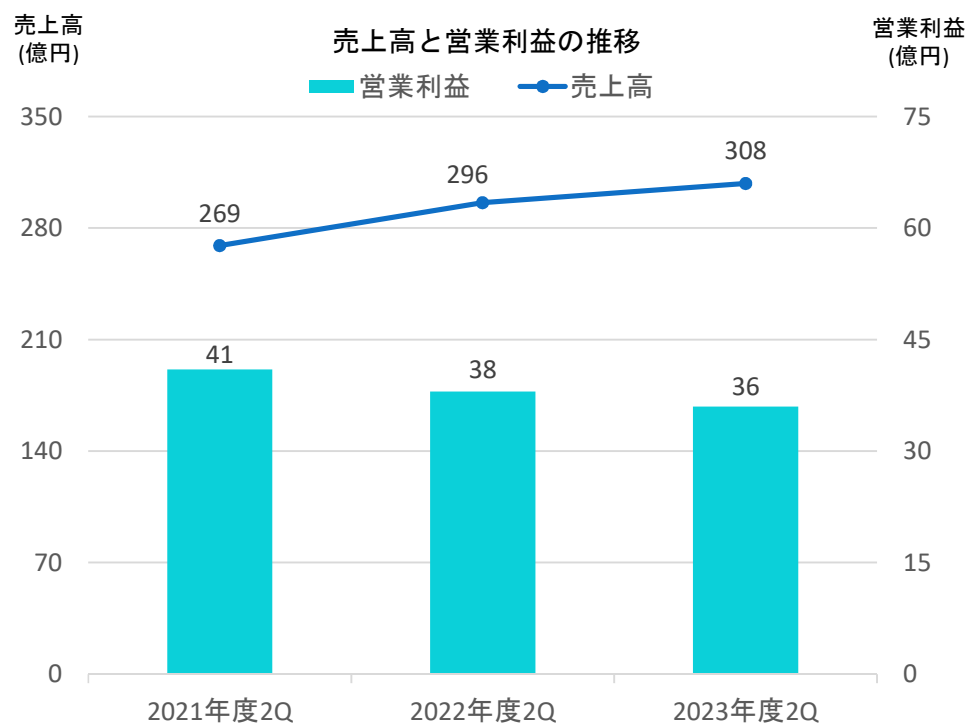
（単位：億円）

	2022年度 第2四半期	2023年度 第2四半期	増減	増減説明
資源事業：鉱石部門	38	36	△2	石灰石等の生産コスト増加により減益
資源事業：金属部門	45	19	△25	円安方向・為替変動幅の縮小 銅鉱山での生産コスト増加により減益
機械・環境事業	5	6	1	機械関連子会社の増益
不動産事業	8	8	△0	前年同期なみ
再生可能エネルギー事業	3	3	0	前年同期なみ
調整額	△11	△9	2	銅鉱山での開発調査費の減少により増益
合計	90	65	△25	

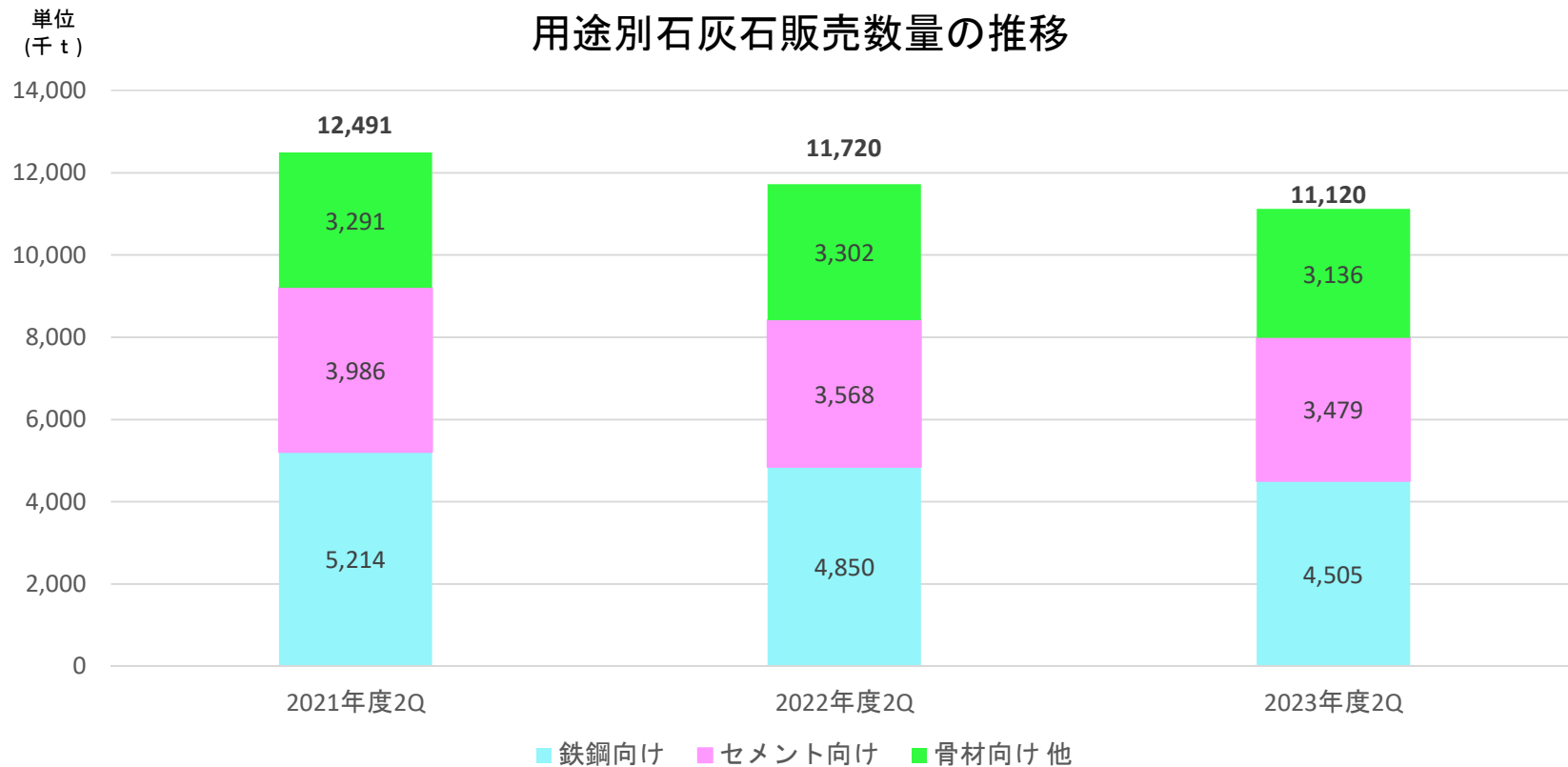
## 2. 2023年度 第2四半期 セグメント別連結決算概要

### 資源事業：鉱石部門

- 鉱石部門は、売上高は石灰石の販売数量は減少したものの、販売価格の上昇により増加したが、営業利益は生産コストの増加等により減少した。



# 資源事業：鉱石部門 (参考) 用途別石灰石販売数量の推移

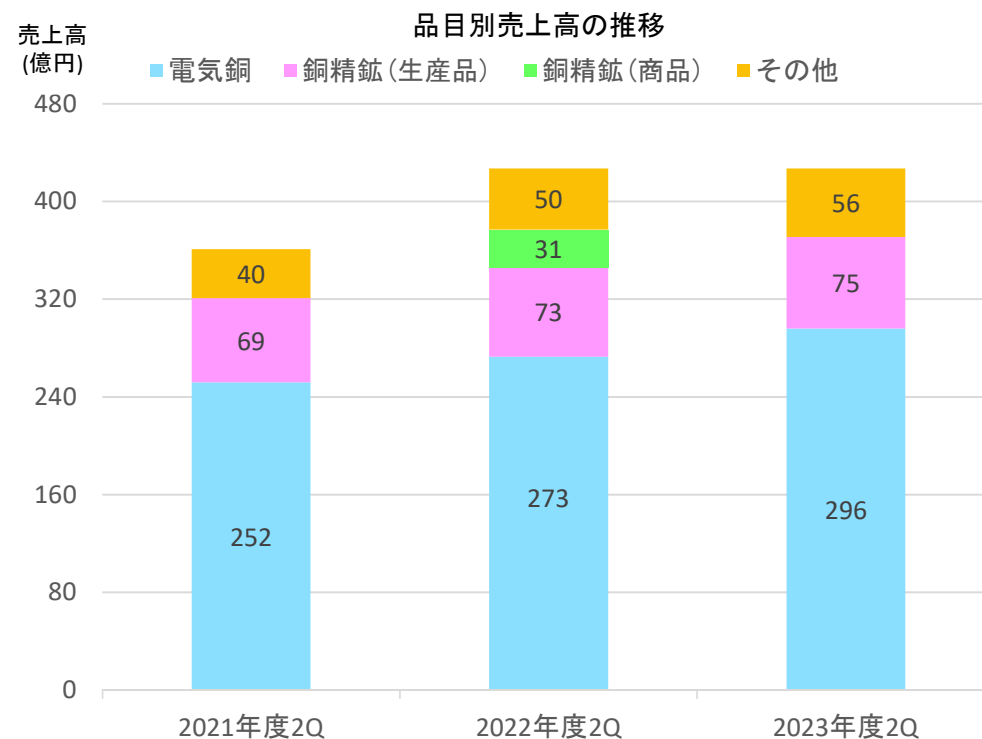
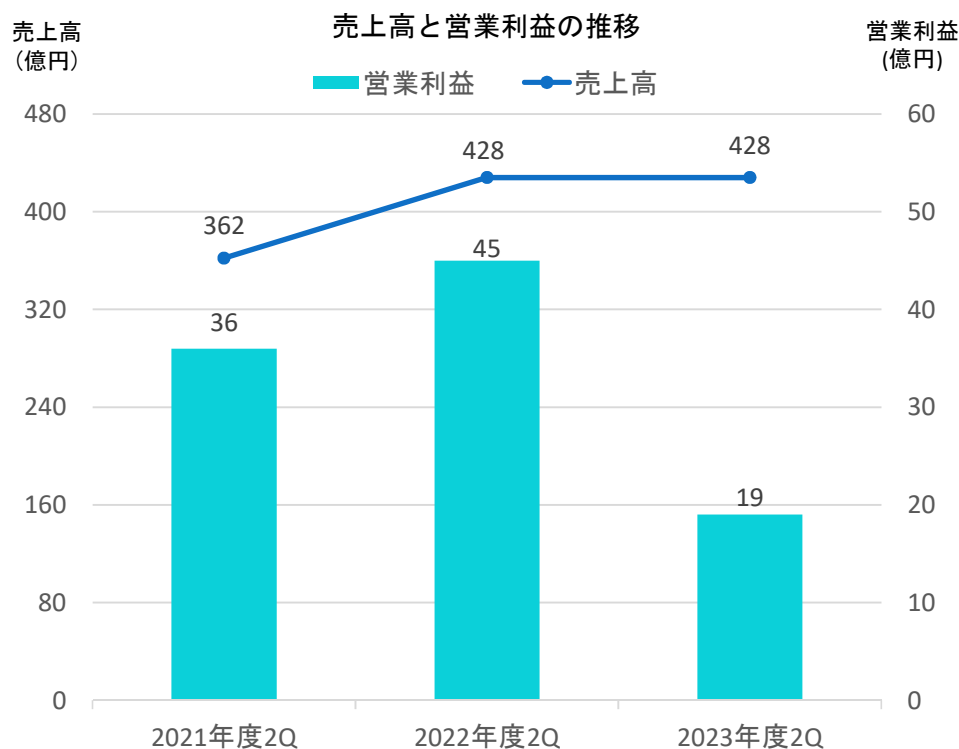




## 2. 2023年度 第2四半期 セグメント別連結決算概要

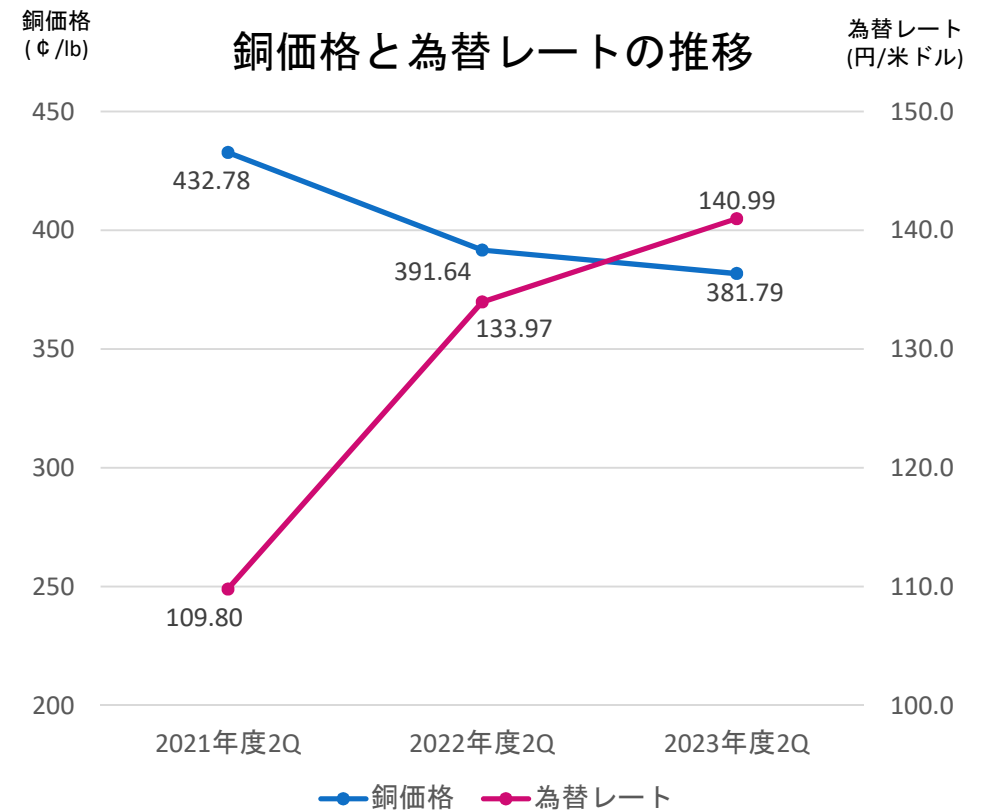
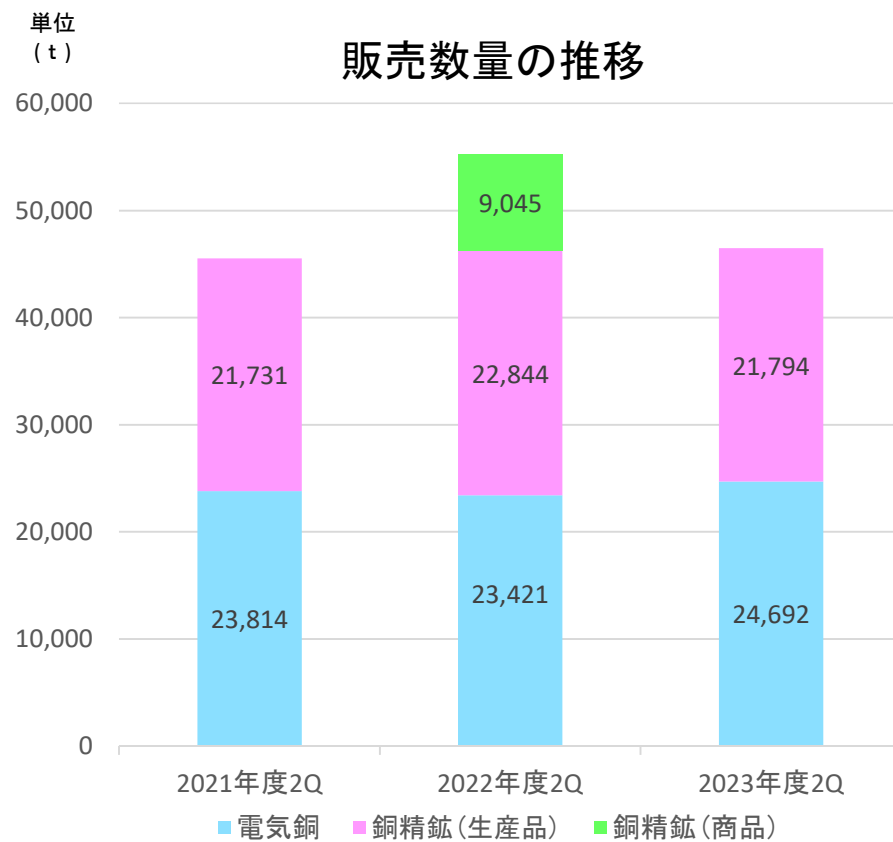
### 資源事業：金属部門

- 金属部門は、売上高は電気銅が販売数量の増加等で増収となったものの、銅精鉱の仕入販売における当期実績が無かったことから、前年同期なみとなったが、営業利益は為替変動の影響に加え、アタカマ銅鉱山の生産コスト増加等により減少した。



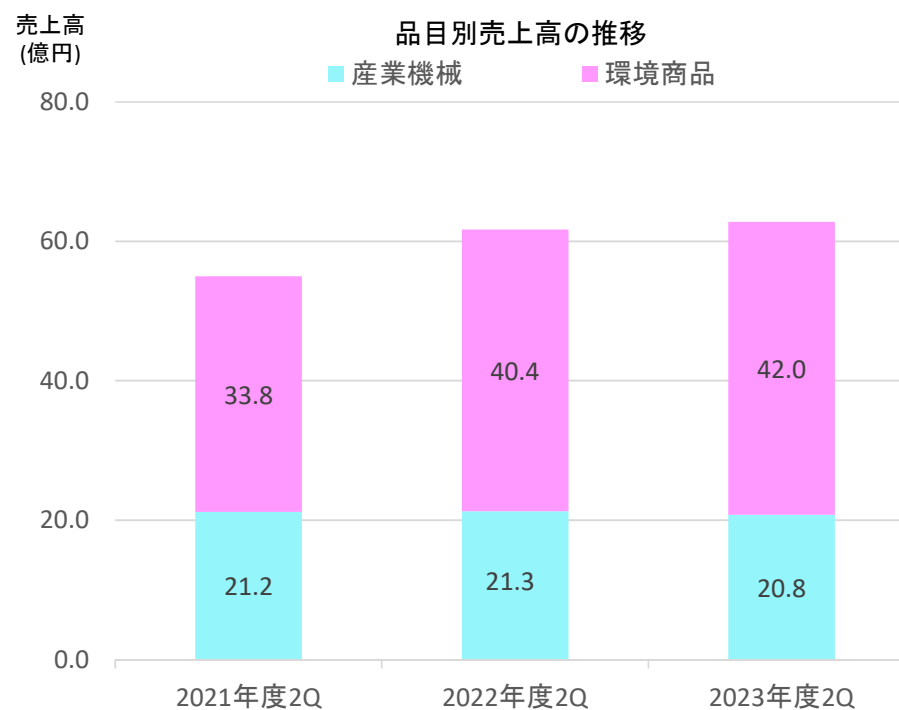
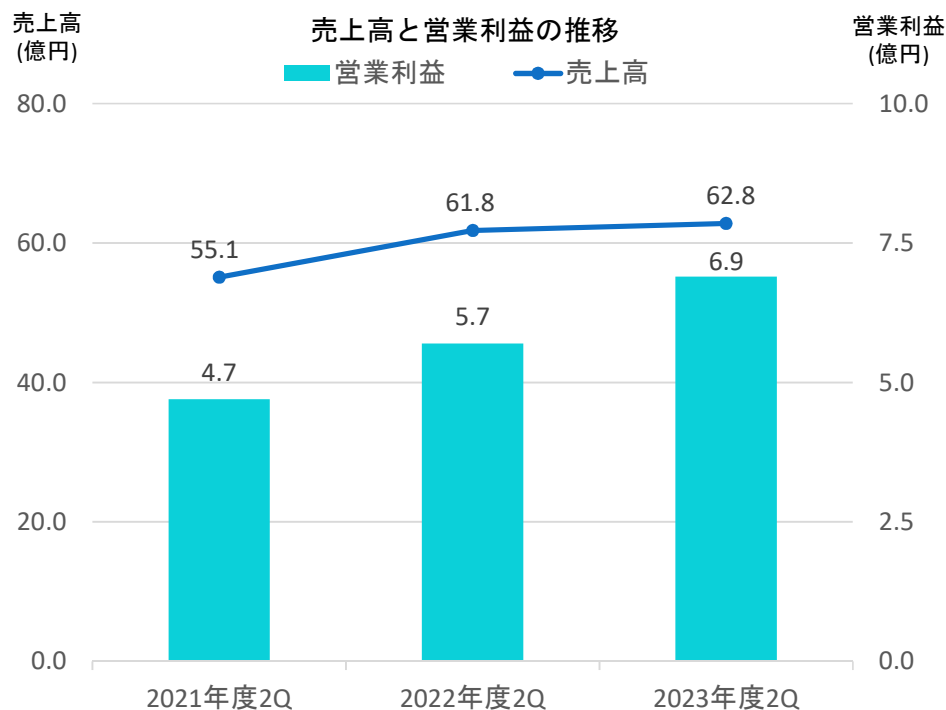
# 資源事業：金属部門

## (参考) 販売数量の推移、銅価格と為替レートの推移



## 2. 2023年度 第2四半期 セグメント別連結決算概要 機械・環境事業

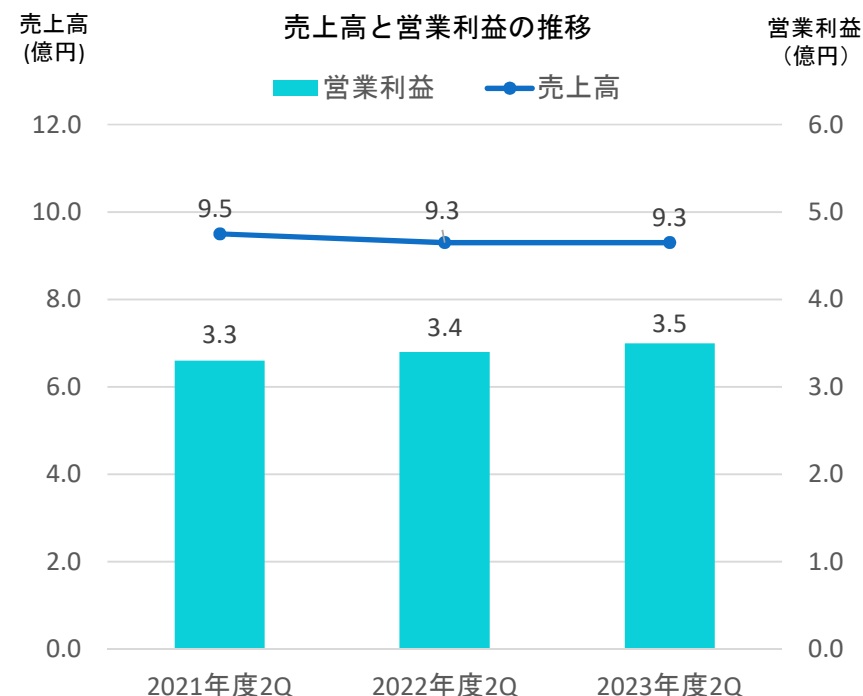
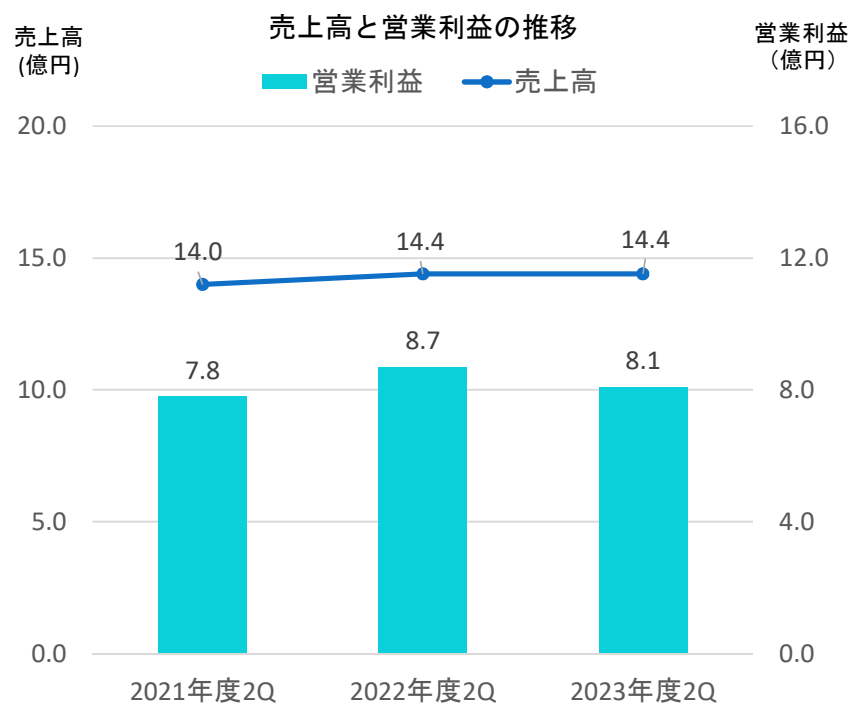
- 機械・環境事業は、売上高は環境部門の主力商品である水処理剤の販売価格の上昇により増加し、営業利益は水処理剤の原材料価格が高騰したものの、一部機械関連子会社の増益等により増加した。



## 2. 2023年度 第2四半期 セグメント別連結決算概要 不動産事業、再生可能エネルギー事業

- 不動産事業は、売上高は前年同期なみであったが、営業利益は修繕費の増加により減少した。

- 再生可能エネルギー事業は、売上高は前年同期なみであったが、営業利益は減価償却費の減少等により増加した。



### 3. 連結貸借対照表

(単位：億円)

	2023年3月31日	2023年9月30日	増減
<b>流動資産 計</b>	<b>941</b>	<b>1,004</b>	<b>62</b>
現金及び預金	400	383	△16
受取手形、売掛金及び契約資産	306	335	28
棚卸資産※	177	231	54
<b>固定資産 計</b>	<b>1,141</b>	<b>1,203</b>	<b>62</b>
有形固定資産	702	709	7
無形固定資産	40	43	2
投資その他の資産	398	450	52
<b>流動負債 計</b>	<b>482</b>	<b>497</b>	<b>15</b>
支払手形及び買掛金	152	190	37
短期借入金	197	168	△28
<b>固定負債 計</b>	<b>206</b>	<b>236</b>	<b>29</b>
長期借入金	11	28	17
退職給付に係る負債	19	18	△0
<b>純資産</b>	<b>1,394</b>	<b>1,474</b>	<b>80</b>
自己資本	1,323	1,385	62
非支配株主持分	70	88	18
<b>総資産</b>	<b>2,083</b>	<b>2,208</b>	<b>125</b>
<自己資本比率>	63.5%	62.7%	△0.8%

※棚卸資産 = 商品及び製品 + 仕掛品 + 原材料及び貯蔵品

## 4. 2023年度 中期経営計画の進捗（連結）

◆ 2023年度計画の営業利益の2Q時点での進捗率は89%。

⇒主な要因：鉱石部門 鳥形山第3立坑建設工事の工期延長による償却費減により高い進捗率で推移

金属部門 生産コストが増加しているものの、銅価の上昇及び円安進行の影響により高い進捗率で推移

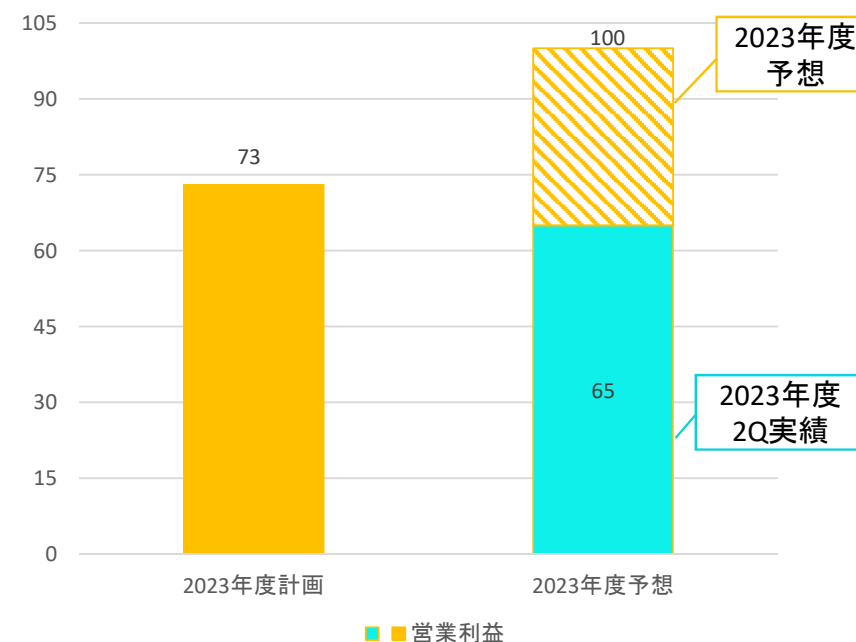
(単位：億円)

<業績>	2023年度計画	2023年度2Q実績	進捗率
売上高	1,238	823	66%
営業利益	73	65	89%
資源事業：鉱石部門	40	36	90%
資源事業：金属部門	25	19	76%
機械・環境事業	11	6	55%
不動産事業	16	8	50%
再生可能エネルギー事業	4	3	75%
調整額	△23	△9	39%

<前提条件>	2023年度計画	2023年度2Q実績	増減
銅価格（¢/lb）	350.00	381.79	31.79
為替レート（円/米ドル）	105.00	140.99	35.99

営業利益  
(億円)

2023年度中期経営計画の進捗



## 4. 2023年度 中期経営計画の進捗（資金・設備投資）

### ■ 資金計画

（単位：億円）

	2023年度計画	2023年度2Q実績	進捗率/増減率
EBITDA	154	92	59%
有利子負債（借入金）残高	304	196	△35%

- EBITDAは、営業利益の増益により高水準で推移。
- 有利子負債は、アルケロス鉱山開発工事遅延等により計画比減。
- 設備投資は、鉱石部門で鳥形山が高水準で推移する一方、金属部門でアルケロス鉱山開発工事遅延等により低い進捗率で推移。

### ■ 設備投資計画（生産準備投資含む）

（単位：億円）

	2023年度計画	2023年度2Q実績	進捗率
資源事業：鉱石部門	35	26	74%
資源事業：金属部門	131	4	3%
機械・環境事業	1	0	—
不動産事業	0	0	—
再生可能エネルギー事業	7	0	—
共通・セグメント間消去	△1	△0	—
計 ※2	173	31	18%

### ■ 成長投資の進捗

（単位：億円）

	2023年度計画	2023年度2Q実績	投資予定総額 ※1	累計	進捗率	完工予定
鳥形山第3立坑建設工事	—	7	200 (195)	185	93%	2024年4月
八戸鉱山新規鉱区開発	4	3	62 (56)	56	90%	2024年度
アルケロス鉱山開発工事 ※2	129	0	514 (49)	0	0%	2026年度

※1 投資予定総額の（ ）は、中期経営計画期間末までの予定額で内数。

※2 アルケロス鉱山開発工事の投資予定総額は、2023年4月28日公表値（開発費用見込）を記載しております。（為替レート130円/米ドルにて換算）

## 5. 2023年度 連結業績予想（修正）

（単位：億円）

	2023年5月12日 前回発表予想	2023年11月7日 発表時点予想	増減
売上高	1,580	1,630	50
営業利益	80	100	20
経常利益	90	105	15
親会社株主に帰属する当期純利益	55	70	15
1株当たり当期純利益（円）	330.60	420.76	90.16
銅価格（¢/lb）	380.00	370.00	△10.00
為替レート（円/米ドル）	130.00	140.00	10.00
1株当たり配当額（円）	※ 132.00	169.00	37.00

※2023年8月25日発表の配当予想

### 売上高：50億円上方修正

- 鉱石部門 △6億円：石灰石の減販
- 金属部門 +57億円：円安進行及び銅精鉱の増販
- 機械・環境事業△1億円：機械関連子会社の減販

### 営業利益：20億円上方修正

- 金属部門 +10億円：円安の進行及び銅精鉱の増販等により増益
- 機械・環境事業 +1億円：機械関連子会社の増益
- 調整額 +9億円：開発調査費及び管理費の減少

### 経常利益：15億円上方修正 当期純利益：15億円上方修正

- 営業利益の増加



## 5. 2023年度 連結業績予想

(単位：億円)

	2022年度実績	2023年度予想	増減
売上高	1,640	1,630	△10
営業利益	136	100	△36
経常利益	132	105	△27
親会社株主に帰属する当期純利益	97	70	△27
1株当たり当期純利益 (円)	587.89	420.76	△167.13
銅価格 (¢ / lb)	387.87	370.00	△17.87
為替レート (円 / 米ドル)	135.47	140.00	4.53
1株当たり配当額 (円)	177.50	169.00	△8.50

※2022年10月1日を効力発生日とした普通株式1株を2株とする株式分割実施のため、1株当たり情報は過去に遡って当該株式分割が行われたと仮定し算定している。

### ■ 感応度 (第3四半期以降)

(単位：億円)

銅価格	10 ¢ / lb 上昇	売上高への影響	+9.2
		営業損益への影響	+1.8
為替レート	5円 / 米ドル 円安	売上高への影響	+13.6
		営業損益への影響	+0.9

※第3四半期以降の相場見通し 銅価額360 ¢ / lb (通期370 ¢ / lb)、為替レート140円 / 米ドル (通期140円 / 米ドル)

## 5. 2023年度 連結業績予想（セグメント別）

### ■セグメント別売上高、営業利益

（単位：億円）

	売上高		
	2022年度 実績	2023年度 予想	増減
資源事業：鉱石部門	600	639	39
資源事業：金属部門	869	822	△47
機械・環境事業	137	136	△1
不動産事業	28	28	－
再生可能エネルギー事業	17	17	－
調整額	△13	△12	1
合計	1,640	1,630	△10

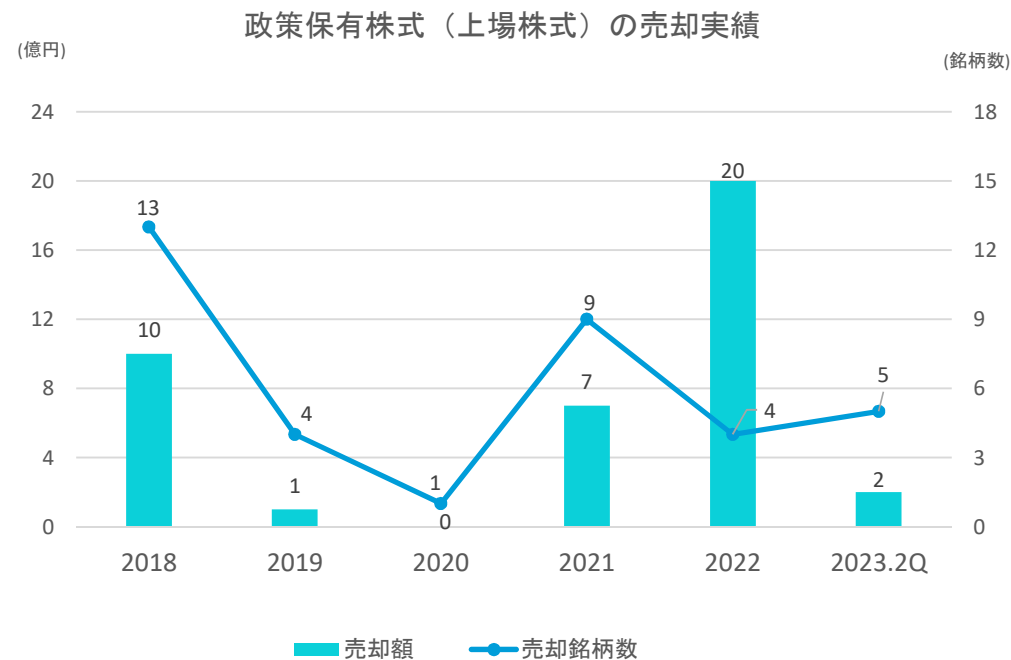
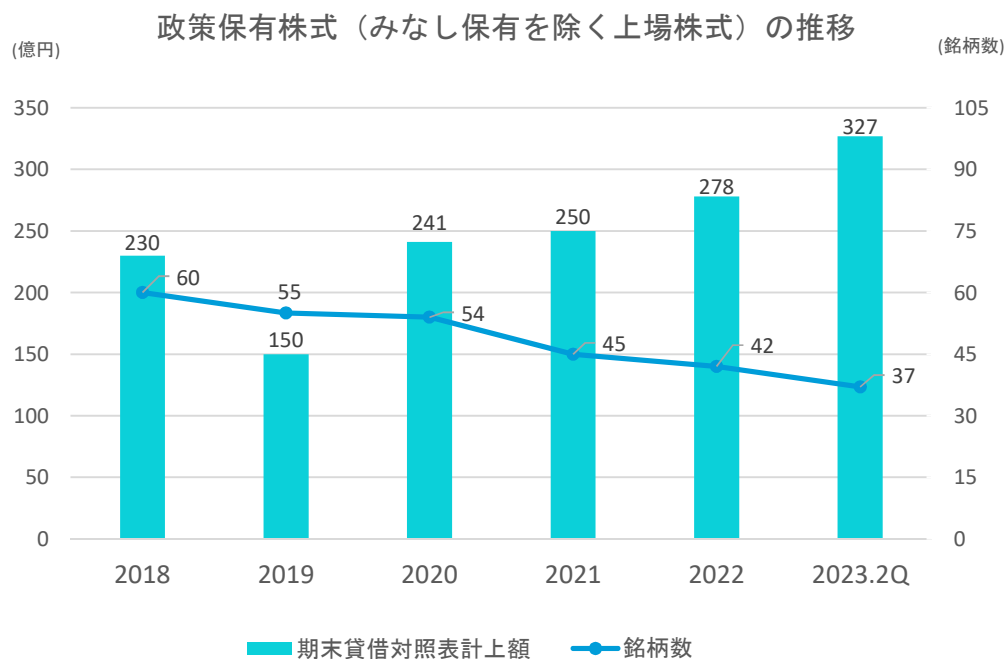
営業利益		
2022年度 実績	2023年度 予想	増減
59	66	7
66	17	△49
12	13	1
17	15	△2
5	4	△1
△24	△15	9
136	100	△36

## 6. 政策保有株式に関する方針

当社は、2023年9月29日に公表した統合報告書に記載のとおり、2022年度～2026年度の5年間で60億円（2022年3月末時価基準）の政策保有株式を縮減する計画としています。

2023年度においては、第2四半期までに5銘柄、2億円（2022年3月末時価も同額）を売却しました。

政策保有株式の議決権の行使については、当社及び投資先企業の中長期的な企業価値向上に繋がるか、また当社の株式保有の意義が損なわれないかを判断基準として、適切に行使します。



## 7. 株主還元方針

2023年度より連結配当性向40%を目途に還元、時価換算DOE3%またはDOE 3%を配当下限値

当社は、自己資本の充実と株主還元の最適なバランスを図りながら、長期安定的な配当を実施するという基本方針の下、これまで連結配当性向 30%を目途に配当を行ってまいりましたが、株主の皆様への利益還元の拡大を図りながら、長期安定的な配当方針を明確にするため、2023年度より連結配当性向 40%を目途に配当を実施するものとし、また、年度末時点の PBR が 1 倍未満の場合には、時価換算 DOE（※ 1） 3%を配当下限値とし、年度末時点の PBR が 1 倍以上の場合には、DOE（※ 2） 3%を配当下限値とすることに変更いたしました。

※ 1. 時価換算 DOE = 1 株当たりの年間配当金 ÷ 年間平均株価（日毎終値の単純平均）

※ 2. DOE = 1 株当たりの年間配当金 ÷ 1 株当たりの年度末連結純資産額（非支配株主持分除く）

（参考）連結配当性向実績と予想

2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度(予想)
17.1%	16.6%	22.2%	30.0%	30.2%	40% 目途

## 注意事項

### 将来に関する記述等についてのご注意

- 本資料における業績予想等の将来に関する記述につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
- 実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。



日鉄鉱業株式会社